

News release

(社) 日本観光協会
事業推進グループ国内振興チーム
担当：鷺尾、川野
TEL：03-5205-0252
FAX：03-3276-2324
E-mail：kokunai@nihon-kankou.or.jp

第14回「優秀観光地づくり賞」決定！

2月23日（金）、社団法人日本観光協会主催、第14回「優秀観光地づくり賞」（後援／国土交通省、総務省）は、次の5団体に決定しました。（応募団体数16団体）

なお、表彰式は、来る4月19日（木）に幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催される「旅フェア2007」のオープニングセレモニーにおいて行います。

【受賞団体】

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| ◇優秀観光地づくり賞 金賞国土交通大臣賞 | 彦根市（滋賀県） |
| ◇優秀観光地づくり賞 金賞総務大臣賞 | 三島市（静岡県） |
| ◇優秀観光地づくり賞 (社) 日本観光協会会長賞 | 曾爾村（奈良県）
高梁市（岡山県）
山鹿温泉観光協会（熊本県） |

この賞は、観光による地域振興を積極的かつ効果的に推進し、他の地域の参考になるような観光地域づくりの成果を生みだしている団体等を表彰することにより、各地におけるより良き観光地づくりがさらに推進されることを目的として平成6年に創設したものです。観光地域づくり活動の担い手となっている地方公共団体、観光協会等の公的団体、民間団体、企業、自治体、グループなどを対象としています。選考にあたっては、「地域定着性」「発展性」「継続性」「独創性」「先駆性」「国際性」「景観性」の視点から審査しました。

●受賞理由

受賞団体	高く評価されたポイント
【優秀観光地づくり賞 金賞国土交通大臣賞】 彦根市（滋賀県）	彦根城、夢京橋キャッスルロードの流れに「四番町スクエア」が加わったことでプラスアルファ効果が期待できる。また、地元が熱心であり、その協力体制が評価された。
【優秀観光地づくり賞 金賞総務大臣賞】 三島市（静岡県）	「湧水を守りたい」という住民の熱意が人を惹きつけ、景観整備推進の結果が観光に結びついた「新しい観光のモデル」として評価された。また、まちづくりに対して市民参加が活発である。
【優秀観光地づくり賞 (社) 日本観光協会会長賞】 曾爾村（奈良県）	行政が過疎化に積極的に取り組んでおり、それが地元にも広がっている。地元の資源を観光に活用することで、観光を通じて地元の人が生き生きしているという点が評価された。
【優秀観光地づくり賞 (社) 日本観光協会会長賞】 高梁市（岡山県）	合併により備中松山城に新たな魅力として吹屋ふるさと村を加え、市全般の魅力をアップさせており、国指定・名勝の小堀遠州作庭園のある頼久寺では、イベントを開催するなど、歴史と文化を活かした取り組みが評価された。
【優秀観光地づくり賞 (社) 日本観光協会会長賞】 山鹿温泉観光協会（熊本県）	山鹿市の観光客入込数の伸びに加え、減少する冬場の対策として企画されたイベントの入場者数は、当初に比べ約3.8割も増加している。地元が熱心で、学生を交えてのまちづくり等により、輪が広がっている点が評価された。

◇優秀観光地づくり賞 金賞国土交通大臣賞 彦根市（滋賀県）



国宝彦根城で知られる彦根市は、彦根城の一点観光から、城下町を含めた奥行き深い「まちなか観光」にふさわしいまちづくりを進めている。その取り組みの一例が、彦根城の京橋口につながる江戸町家風の家並みが美しい「夢京橋キャッスルロード」で、住民と行政が協働で街並み景観づくりに取り組んだ成果でもある。彦根城を訪れる観光客の約半数が「夢京橋キャッスルロード」に出向くという調査結果もあるように、彦根城からの回遊性が生まれた。

「夢京橋キャッスルロード」を城側から進むと出口にあたる部分に、以前は大変賑わった本町市場商店街がある。昭和40年代から衰退し始めたこの商店街は、平成8年に若い店主の行政に頼らないまちづくりを目指し始めた取り組みによって「四番町スクエア」として再生された。この事業は、土地区画整理事業という手法を活用しながらも、行政はあくまでも「支援者」という立場を貫き、住民個々の個性があふれた大正ロマンある一画となった。徹底した話し合いによる換地の結果、集客の核となる施設が配置され、この施設を運営するとともに永続的なまちづくりへとつなげるため第3セクターのまちづくり会社が住民を中心として平成15年に設立された。最近では、彦根城から回遊する観光客は、「夢京橋キャッスルロード」から「四番町スクエア」へとつながるようになり、回遊性が増している。今後は、他の商店街や城下町らしい景観とも連動して、より魅力的な「まちなか観光」につながることを期待される。

◇優秀観光地づくり賞 金賞総務大臣賞 三島市（静岡県）



三島市が取り組む「街中がせせらぎ事業」は、中心市街地の歴史、文化、水辺や翠の自然環境といった「アメニティ資源」を活用し、それをネットワークする回遊ルートを整備することによって、周辺を快適な空間に造り上げ、「歩きたい街」、「住みたい街」を築くことを目的とした事業である。富士山からの湧水が湧き、古くは「水の都」と呼ばれていた三島市では、昭和40年代に地下水のくみ上げによって湧水が枯渇したことを契機として、グラウンドワーク三島（平成10年NPO法人化）等

による市民主導のまちづくりが活発に進められていた。「街中がせせらぎ事業」も、三島商工会議所が創立50周年記念として提唱したビジョンを、市民・企業・まちづくり団体・行政が協働（コラボレーション）で取り組んでいるもので、延べ数百回に及ぶワークショップ開催に代表されるように、市民参加による計画づくりが基本で、実現のための施策化や調整を行政が担ってきた。

具体的な事業としては、殺風景だったJR三島駅南口に樹を植え、花壇を整備し、水が流れるせせらぎ空間をつくりだした。また、駅の清掃はアダプトプログラムの里親によって日々綺麗にされている。民家の裏を流れる川を楽しみながら歩けるように、飛び石や木道の歩く道を整備、また、川から街へと人を誘導する回遊ルートは、砂色のアスファルト舗装が施され、ところどころに水の仕掛けがあり、歩いて楽しい工夫が点在されている。その他、JR東海とのタイアップによる「せせらぎウォーク」、地元の日本大学の学生達との駅弁や土産品開発など、外部との連携も活発である。

◇優秀観光地づくり賞 (社)日本観光協会会長賞 曾爾村 (奈良県)



曾爾村は、曾爾高原をはじめ豊かな自然資源に恵まれており、年間約30万人の観光客が訪れるが、冬場の観光客が少ないこと、地域への経済効果の確保が課題であった。そこで、「生まれてよかった、住んでよかった、来てよかったむらづくり～日本一のススキの高原を活かして～」をキャッチフレーズに曾爾村の地域資源をアピールできる施設整備、都市住民との交流事業、雇用の創出を図ることで地域の活性化を進めている。曾爾高原ファームガーデンは、地域の資源や人材を積極的に活かす施設運営を進めており、地産地消による地元素材を活用したことで住民活動が活発化し、33戸の農家で

「曾爾高原ファームガーデン野菜出荷組合」を結成。農家所得の向上や曾爾村のPRを目的として、都市部への販路拡大に取り組んでいる。また、温泉施設「曾爾高原温泉お亀の湯」の開業により、冬期の閑散期の観光客の確保も可能となった。滞在型市民農園で、都市住民への新たな余暇活用の提案をしているクラインガルデン曾爾では、利用する都市住民との交流を行うため、地元小長尾の44戸の農家が「むらづくり推進委員会」を結成し、都市住民との交流の中で、新しい農産物の栽培に取り組んでいる。住民全体の活動は曾爾村全体に広がりを見せており、地域産業の振興につながっている。

◇優秀観光地づくり賞 (社)日本観光協会会長賞 高梁市 (岡山県)



平成16年10月1日に1市4町が合併して発足した高梁市には、国指定重要文化財の備中松山城をはじめ、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された吹屋の町並み、10万本のつつじのある弥高山公園など数多くの観光資源がある。高梁市の一部は、岡山県制定の「岡山県景観条例」の景観モデル地区（県民に親しまれ県民の誇りとなるような景観を有する地域）第1号にも指定されており、美しい自然や歴史的町並みを保全するため、歴史的建造物の保存修理や修景を計画的に実施している。大規模な民間宅地開発においては、地区全体の住環境の保全、緑地の確保、周辺景観との調和等に配慮

した開発の指導、公共施設や道路の整備については、計画段階から市民の意見や要望を取り入れるなど、多彩な地域特性を活かした景観の形成に努めている。合併後、まちづくりに歴史と文化を活かそうと企画された頼久寺でのイベントは、住民にとっても高梁再発見の良い機会となっている。また、今年で359年の歴史と伝統を誇る県下三大夏祭りのひとつ「備中たかはし松山踊り」については、(社)高梁市観光協会、商工会議所、婦人会等30団体で組織された実行委員会により運営されており、市民総参加の一大イベントとして定着し、期間中は多くの踊り手で賑わい活気に満ち溢れている。

◇優秀観光地づくり賞 (社)日本観光協会会長賞 山鹿温泉観光協会 (熊本県)



山鹿市は、明治43年建築の伝統的な芝居小屋の八千代座、熊本城下と豊前を結ぶ参勤交代の道「豊前街道」が江戸時代の面影を残したまま存するなど独特の雰囲気を出している温泉地である。山鹿温泉観光協会は、古くからの歴史や伝統を大事にしながらも、時流に応じた新たな取り組みを積極的に実践し、融合を図りながら観光地づくりを進めており、山鹿市の観光振興に大きく貢献している。夏期には、山鹿の郷土芸能をPRする「山鹿風情物語」を開催し、平成14年度からは、観光客の減少する冬場の対策として、灯りの祭典「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」を開催している。キャンペーン中は、山鹿灯籠と山鹿太鼓の競演に加え、住民が協力して八千代座前の通りに3千戸の竹灯りと紅白の番傘を使った灯りで街を演出、また、熊本市内の崇城大学等の協力を得て、山鹿市伝統の和紙や竹・木などを素材にしたランプの展示、和紙を使ったポップアップカード制作体験の実施など、学生を巻き込んだ取り組みとなっている。学生と地域を巻き込んだ新しい取り組みを次々と展開することで、街全体の魅力が高まり、観光客の増加に繋がっている。また、豊前街道に今も残る酒蔵、米蔵、味噌蔵などを歩く「米米惣門ツアー」では、米をキーワードに山鹿を知ることが出来、当時の活気を肌で感じる事が出来る。

過去受賞団体一覧

《第1回受賞団体》

1. 江差観光協会（北海道）
2. 人形劇カーニバル飯田実行委員会（長野県）
3. 古川町観光協会（岐阜県）
4. 北九州市（福岡県）
5. 伊王島町（長崎県）

《第2回受賞団体》

6. 釧路市（北海道）
7. 白川郷荻町集落の自然環境を守る会（岐阜県）
8. 伊万里鍋島焼協同組合（佐賀県）

《第3回受賞団体》

9. 安塚町（新潟県）
10. 井波町（富山県）
11. 唐津市（佐賀県）

《第4回受賞団体》

12. 岳温泉観光協会（福島県）
13. 五箇荘町観光協会（滋賀県）
14. 鷹島町（長崎県）
15. 綾町（宮崎県）

《第5回受賞団体》

16. 瀬戸田町（広島県）【金賞・運輸大臣賞】
17. 財団法人日本大正村（岐阜県）【金賞・自治大臣賞】
18. 上対馬町（長崎県）【国際観光賞】
19. 横浜町（青森県）
20. 河辺村（愛媛県）

《第6回受賞団体》

21. 足助町・足助町観光協会（愛知県）【金賞・運輸大臣賞】
22. 小布施町（長野県）【金賞・自治大臣賞】
23. 南郷村（宮崎県）【国際観光賞】
24. 五箇山観光協会（富山県）
25. 財団法人清和文楽の里協会（熊本県）

《第7回受賞団体》

26. 由布院温泉観光協会・由布院温泉旅館組合（大分県）【金賞・運輸大臣賞】
27. 高柳町（新潟県）【金賞・自治大臣賞】
28. 乳頭温泉郷組合（秋田県）
29. 脇町（徳島県）

《第8回受賞団体》

30. 美山町・美山町観光協会（京都府）【金賞・国土交通大臣賞】
31. 内子町（愛媛県）【金賞・総務大臣賞】
32. 社団法人長浜観光協会（滋賀県）【国際観光賞】
33. 石巻市（宮城県）
34. 河口湖町（山梨県）
35. 巖原町（長崎県）

《第9回受賞団体》

36. 遠野市（岩手県）【金賞・国土交通大臣賞】
37. 新治村（群馬県）【金賞・総務大臣賞】
38. 下関市（山口県）【国際観光賞】
39. 西米良村（宮崎県）

《第10回受賞団体》

40. 松江市（島根県）【金賞・国土交通大臣賞】 【国際観光賞】
41. 利賀村（富山県）【金賞・総務大臣賞】
42. 塩原町・塩原温泉観光協会（栃木県）

《第11回受賞団体》

43. 高山市（岐阜県）【金賞・国土交通大臣賞】
44. 社団法人小江戸川越観光協会（埼玉県）【金賞・総務大臣賞】
45. 盛岡市（岩手県）【都市観光】
46. 全会津観光連盟（福島県）【広域連携】
47. 篠山市（兵庫県）【地域ブランド】
48. 勝山町（岡山県）【町並みデザイン】
49. 豊後高田商工会議所・豊後高田市（大分県）【商店街再生】
50. 知覧町（鹿児島県）【平和】

《第12回受賞団体》

51. 小樽市（北海道）【金賞・国土交通大臣賞】
52. 株式会社南信州観光公社（長野県）【金賞・総務大臣賞】
53. 登米市登米町（宮城県）
54. 温泉町（兵庫県）
55. 境港市観光協会（鳥取県）

《第13回受賞団体》

56. 佐原市（千葉県）【金賞・国土交通大臣賞】
57. 日南市（宮崎県）【金賞・総務大臣賞】
58. 姫路市（兵庫県）
59. 呉市（広島県）
60. 黒川温泉観光旅館協同組合（熊本県）

※受賞団体の名称は受賞当時のものです。